

1 学校教育目標

○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○保護者・地域との協働で子どもを育てる活気のある学校 ○常に目標を明確に示し、児童の頭と心と体のバランスの良い発達を目指す学校 ○児童一人一人が大切にされ、学ぶ喜びを感じることでできる学校
○児童・生徒像	○地域に根差し、互いの良さや違いを認め合い、助け合える子ども ○基礎的・基本的な学習内容と生活習慣を身につけ、進んで学習する子ども ○常に目標をもって、健康の増進や体力の向上に努める子ども
○教師像	○常に自己研鑽に努め、指導力や授業力の向上に努める教師 ○深い児童理解と教育愛に満ち、児童・保護者・地域に信頼される教師 ○組織的に協働し、教育効果を高める職務行動意識の高い教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

中堅以上の教員が若い教員をよくサポートし協働体制をしっかりと保持しながら十分以上の対応を進めることができている。全体的に指導に対する意欲が高い教員が多く見られる。一方、授業力・学級経営力に課題がある教員も在職している。学校経営方針のもと、皆熱心に職務遂行に取り組む姿勢が認められる。児童は指示待ちの傾向はあるものの明るく素直で大変落ち着いている。健康面・学習面・生活面に配慮を要する児童に対して全職員が共通理解を図り、素早く、組織的に対応することを心掛けている。学校に対する地域・保護者の期待は大きくPTA、地域も大変に協力的である。

	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(R6)			74.4	76.7	72.7	76.4	56.7	61.9	50.0	59.1	50.0	46.6
通過率(R6)	79.9	86.8	87.2	97.4	93.9	95.9	83.3	83.3	63.6	73.2	73.9	89.1
目標値(R5)			74.4	74.8	72.7	71.3	58.1	60.4	56.0	60.1	60.9	50.5
通過率(R5)	77.1	83.7	85.1	97.9	81.0	91.4	78.2	78.2	75.6	80.0	66.0	71.7
平均正答率(R6)	71.3	78.5	89.1	94.8	88.6	92.9	69.9	77.4	59.2	70.7	60.3	65.4
平均正答率(R5)	75.3	76.5	89.5	93.3	85.1	85.9	69.6	73.9	70.9	69.8	65.8	64.6

4月区学力調査結果は、全体通過率83.35(昨年比2.55向上)、教科別に見ても国語79.9%(昨年比2.8向上)、算数86.8%(3.1向上)で、昨年を上回る結果を示すことができた。区学力テスト結果のみの判断ではあるが、学力向上の成果を上げることができている。これまでも校内対策として、①週あたり1時間増の算数科7校時設定を行い、各学年が標準時数15%以上の時間を確保したが、本年度は従来に戻しその時間の削減を行ったことにより、算数の学習進行を前倒しして2月以降定着期間を確保したがそれができていないこと。②特設の「桜花タイム」を週あたり約3回の放課後実施として専科教諭も併せたチームとして習熟度別に実施し、終了した児童から下校させることで低位の児童への対応を厚くしたが、本年度は週あたり4回(各回30分)を全児童に対して担任教諭が進める変更をした。③全学年で統一して進める学力校内策を組織対応できるようにするため、校長のプランニング

から学力推進委員長をトップとする計画作成、進行管理を行った。

校内研究で算数科の研究を進め、足立スタンダードの徹底を目指してきたほか、S－P表や学力ポートフォリオの作成・分析、3，4年生のそだち指導等も活用し、一人一人の児童の課題や伸びを正確に把握し、日々の授業に加え放課後や長期休業中の補習学習で理解が不十分な個所を重点的に指導し、学校全体として基礎学力の定着を図った。学校評価項目「児童は仲良く楽しく学校生活を送っている」のに対して、89％以上の保護者が「よくできている」「ややできている」と肯定的な回答となり、これについても4％の向上が見られた。開かれた学校づくり協議会の協力も得ながら年間を通し実施している毎朝のあいさつ運動を推進し、日常的に縦割り活動を進める中で、すべての児童に思いやりの心をもって優しく接するという気持ちが育ってきた。児童の運動能力および筋力、持久力のさらなる向上を目指し、授業発表会等を通して体育授業や教材、指導内容の工夫に努めた。さらには、持久走週間や縄跳びチャレンジ等、一定期間集中的に運動に取り組む中で、日常的に運動に親しもうとする児童が増えてきている。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R5	R6	R7	R8	R9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	思いやりと自分が大切にされている実感ある学級・学年づくり（学級・学年経営）	○	○	○	○	○
3	体力向上	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－１		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的基本的な学習内容の定着		令和７年度区学力調査目標値 の通過率 ８０％				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクション プラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●

1 継続	授業の充実	算数	毎日の授業	【指導者体制】 担任＋習熟度別担当教諭 【取り組みのねらい】 各学級教室：担任(A・B)と習熟度別少人数教室(C)の半期固定 ○各グループの正答率に応じた目標値設定。 ○指導者が担当グループ児童の理解に責任をもつ。	◇各单元末評価テストのグループ別集団平均点の3期に分け前2期(てんまる学年集計单元別学習状況一覧表)による点検	◇单元評価テスト全学年の通年平均点 80 点以上
2 継続	30分×4日 120分/週の特設時間の追加	算数 国語	4回/週 月・火・木・金の放課後 3:00-3:30の30分間	【指導体制】 1～6学年 【ねらい・目的】 算数・国語科の「わからない・できない」を1人残らずすくいあげる	各单元末評価テストの学年全体の正答率(得点)の推移	◆各学年算数科单元末評価テストの正答率推移 ◆2月実施の昨年度学力テスト校内調査
3 新規	読書活動の充実	国語 その他調べ学習	年間	【指導体制】 担任、学校図書館支援員 【ねらい・目的】 学校図書館を活用し、情報収集・活用 図書支援員による読み聞かせ(週2回)	・読書通帳記録 ・調べる学習コンクール参加	・読書通帳 低2冊、高1冊達成
4 継続	家庭学習定着への取組	各教科 30分＋学年×10分間以上	毎日	【取り組みのねらい】 家庭学習習慣の9割定着 家庭学習提出率向上のための保護者の意識醸成	家庭学習の提出率各学級達成度の確認	全学級家庭学習の提出率9割以上
5 新規	ICT活用	全児童 各教科	年間	ICT 支援員を活用した研修会3回 AIドリルを活用し基礎・基本の定着を図る	研修会実施 授業観察 週案	毎週ICTを活用した授業実施。 AIドリル活用 WAU78%

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－ 2		思いやりと自分が大切にされている実感ある学級・学年づくり（学級・学年経営）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
○思いやりある児童の育成 ○自分が大切にされていると実感できる環境設定		○生活指導部・特活部における全校的な取り組みの計画と実施 ○各学年での取り組み	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	自己評価の際に記入		
「ほかほか言葉」でいっぱい为学校	学校評価児童アンケートの項目「楽しく仲良く学校生活を送っている」及び「自己肯定感」に関わることの達成 90 パーセント以上	○各学級教室での「友達のいいところ」「友達にありがとう」の掲示 ○校長等による朝会等での「友達にありがとう」の紹介			
遅刻、登校しぶり、不登校児童への支援の充実	・関係機関との迅速、確実な連携。 ・保護者と連携を密に図り、予防、改善に努める。	・関係諸機関との迅速な情報共有と方針の確認。 ・組織的な支援の実施と、実施内容の評価、改善を行う。 ・生活指導夕会での全校の情報共有。対策の確認。			

重点的な取組事項－３		体力向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度

心身ともに健康な児童の育成	○都運動能力調査で一昨年の学年平均スコアを全学年向上させる。	自己評価の際に記入
---------------	--------------------------------	-----------

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
年間を通した体力向上の取組	校内運動能力調査結果の記録向上 各学級における取組 みと自己記録カードの 振り返り	・運動朝会、体育授業等様々な運動を計画的に行う機会の設定。 ・自己の記録履歴や学習カードを活用した運動や遊びの指導、季節や行事に合わせた各種運動月間の設定。 ・体力テスト・水泳・持久走・縄跳び等の個人記録を整理し、指導に役立てるとともに家庭や地域とも連携した取組の推進。運動月間ごとに学校記録の更新の機会を設定する	自己評価の際に記入		

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。